



令和4年度 施政に関する基本方針
「世界に羽ばたく国際都市 泉佐野」
 ～ひとを支え ひとを創り 賑わいを創る～

千代松市長は3月3日の定例市議会で、令和4年度の施政に関する基本方針を表明しました。

問合せ先 政策推進課

人類が大いに苦しめられている新型コロナウイルス感染症との戦いは、早2年が経過しました。新しい生活様式が日常生活に変化しつつある今、ここからの歩みが5年先、10年先の泉佐野市の成長を左右するものと捉えております。

昨年、岸田内閣が発足し、成長も分配も実現する「新しい資本主義」の具現化に向け走り出しました。格差や気候変動といった現在の資本主義の弱点を強みに変えることをカギとしており、地方を主役にしてデジタル化を進めることで課題解決を図っていることか

施政に関する基本方針

令和4年度 今年度の主な取組

施政方針は抜粋したものです。全文はホームページ (https://www.city.izumisano.lg.jp/kakuka/koushitsu/seisaku/menu/sisei_hosin/) をご覧ください。

地域の強みを生かし、賑わいを創り出すまちづくり

【観光】

- 2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の開催を控え、ウィズコロナを意識した国内旅行者向けのツーリズムを展開し、地域の活性化を図ります。
- 昨年10月にオープンした「りんくう野外文化音楽堂」において、あらゆる芸術などに対応したイベントを実施し、地域経済の活性化に寄与する取組を推進します。
- 「特産品相互取扱協定」締結自治体や近隣市町が参加する全国物産フェアなどの開催により、さらなる誘客促進に努めます。
- 3つの日本遺産や歴史資源などについて、令和3年に文化庁に認定された「泉佐野市文化財保存活用地域計画」に基づき、今後の賑わいづくりのための知名度向上と地域活性化に向けた取組を進めていくとともに、「歴史文化遺産都市」の都市宣言を掲げることで着実に遂行します。

【国際化】

- 未来の国際人の育成を支援するため、ふるさと応援寄附金を活用したグローバル人材育成支援金交付制度を新たに設け、府内の高等学校などが実施する短期留学に参加する生徒およびその保護者を支援します。

- 昨年度締結した、関空を拠点とするPeachとの包括連携協定に基づく取組を進めます。

- 関空アイスアリーナについて、敷地内にトレーニング棟を建設し、さらなる機能強化を図ります。

【産業】

- 泉佐野産（もん）商品化プロジェクトについて、新たな手法で、広く興味を持たれるような、商品のPR展開やブランド化を推進します。

- 新型コロナワクチン接種促進として配布される地域ポイント「さのぼ」の導入施設および利用者の拡大を図ります。

- ふるさと納税を活用した中小企業者支援に努めます。

【雇用・労働】

- 新型コロナウイルス感染症拡大によって変革が生じている労働市場においても就職に結びつきやすい資格取得を支援するなど、時勢に応じた就労支援を図ります。

- 事業所などが外国人材を受け入れるにあたり、受け入れる企業に定着する基盤の整備を目的とした外国就労者受入サポートセンターの活動を支援します。

ら、本市としましても、人口減少、高齢化、産業空洞化などを食い止める「地方創生」に積極的に取り組んでまいりる所存であります。

一方、大阪府におきましては、「大阪・関西万博」まであと3年あまりとなり、万博を一過性のイベントにせず、この好機を生かして大阪の成長につなげるとともに、コロナ禍を超え、コロナを克服して、成長する大阪の土台を強固なものにするとしています。

本市の財政状況におきましては、引き続き黒字決算を堅持しているものの、今後も地方債の残高を多く抱え、高水準の公債費負担が継続することに加え、コロナの影響など不確定な要素も多いことから、一層の財政の硬直化を招くことが予想されています。

こうしたことから、今後の財政運営は「中期財政運営方針」に基づき、黒字決算の維持・継続を図るため、歳出面では事業の選択と集中を進めてまいります。また歳入面では、市税収入の確保をはじめ、市有財産の有効活用や新たな財源の創出に取り組んでまいります。

「新しい資本主義」と発せられる100年以上前に、近代資本主義の父である渋沢栄一は、「できるだけ多くの人に、できるだけ多くの幸福を与えるよう行動する。それが我々の義務である。」と語りました。市民のみなさまの「いのち」を守り、「くらし」を支えるため、この言葉を胸に一生懸命取り組んでまいります。

施政に関する基本方針で表明した主な取組は8～11ページで紹介しています。

ひとを豊かに育むまちづくり

【子ども・子育て】

- こども医療費について、今年10月より助成対象児童を18歳年度末まで拡充し、子育て家庭の経済的負担の軽減に努めます。
- 私立園および本年4月に運営を開始した小規模保育事業と連携し、待機児童が発生しないよう定員確保に努めます。
- 出会いの機会創出事業や結婚新生活支援事業を一体的に推進し、若い世代が安心して結婚・出産・子育てができる環境づくりを推進します。
- 3歳6ヵ月児健診において、今年度から新たに、屈折検査機器・スポットビジョンスクリーナーを導入し、眼の疾病および異常の早期発見を行うなど、健診の充実を図ります。

【学校教育】

- ICTの活用について、校内通信ネットワーク、1人1台端末を有効に活用した教育活動を推進します。
- 児童・生徒の豊かな感性や思いやりの心が育まれるよう、「泉佐野こども読書通帳」の活用促進に努めるほか、学校司書の配置拡充や学校図書館の改修・電算化、蔵書充実を計画的に進めます。
- 様々な理由により義務教育未修了のまま学齢を超過した人や、不登校などのためにほとんど学校に通えなかった人、本国で義務教育を修了していない外国籍の人などが学ぶことのできる中学校夜間学級、いわゆる「夜間中学」の設置を推進します。
- 児童・生徒の読書環境を整えるため、今年度から4ヵ年計画で、貸出・返却が容易にでき、本の蔵書管理を的確に行える「学校図書館システム」を全小・中学校に導入します。

- 地球温暖化に係る温室効果ガスの削減および本市の電力料金の削減のため、小・中学校の照明設備をLED照明設備に順次、更新します。
- 上之郷小学校、北中小学校、佐野中学校、第三中学校のトイレの洋式化を進めます。
- 学校教育に支障のない範囲で施設開放の拡大を図るため、今年度は第三中学校グラウンドに夜間照明設備を設置します。
- 学校給食費は、新型コロナウイルス感染症対策として、今年度も無償とします。

【生涯学習・スポーツ】

- 移動図書館について、市の鳥にちなんだ「移動図書館ルリビタキ」に一新し、より利用しやすい移動図書館として市内を巡回運行します。
- つばさ通り商店街近くに、新たな図書館の出張所である「佐野まちライブラリー」を開設し、人と人と人が触れ合う機会を創出します。
- スポーツ施設について、今年2月に「新町テニスコート」を開設し、夏には25mプールと幼児用プールを備えた「りんくう市民プール」をオープンする予定で、子どもから高齢者までスポーツに親しみやすい施設づくりを行います。
- 市民総合体育館や健康増進センターをはじめとするスポーツ施設について、老朽化した設備の更新などを計画的に行い、安全で快適なスポーツ環境の整備を図ります。

快適で住みやすいまちづくり

【道路・交通】

- コミュニティバスおよび観光周遊バスは、運賃無料での運行を継続します。
- 泉佐野土丸線について、早期完了をめざして事業を推進します。
- 交通環境の改善を目的として、笠松末広線の未整備区間について、基本設計を行い、事業実施に向け取り組みます。
- 府道新家田尻線における大正大橋の幅員を広げた架替および歩道の整備について、早期完了をめざして事業を推進します。

【公園・緑地】

- 公園施設の適正な維持管理に努めます。
- 老朽化した公園施設の安全確保や公園の活性化を目的とした、公園施設の改修や修繕、公園の再整備を進めます。
- 末広公園について、老朽化した運動施設の改修や防球ネットの設置、散策路の整備を行います。
- 「樫井川かわまちづくり計画」に基づく事業を推進し、地域と融合した空間形成をめざすとともに、かわまちづくりの立ち寄りどころとなる大井関公園について、リニューアルに向けて検討します。

【上下水道】

- 「安全」「持続」「強靱」を理念として、安全で良質な水を安定的に供給し、健全な経営を行うとともに自然災害に強い水道をめざし事業運営を行います。

- 「水道ビジョン」に基づき、老朽化した配水管および医療機関や避難所などの重要給水施設への配水管の耐震化を推進します。

- 「下水道事業経営戦略」に基づき、健全かつ持続可能な事業運営に努めます。

【住宅】

- 地域ポイント「さのぼ」を付与する住宅総合助成事業については、地域経済の活性化を目的に追加して、移住・定住のさらなる促進のため、対象者の範囲を広げるために条件を緩和して実施します。
- 市営住宅について、適正な債権管理のもと、効率的で安心・安全な住宅の管理および運用に努め、ストックの有効活用などを研究します。

【市街地整備】

- 南海泉佐野駅周辺地区および東佐野駅前地区について、住居系から商業系などへの用途見直しを、11月開催予定の泉佐野市都市計画審議会での変更を目標に進めます。
- 市役所周辺地区について、行政拠点としての機能集積を図る観点から、風致地区から除外するなど土地利用を促進し、行政機能の充実と市民サービスの向上を図るための検討を進めます。
- 中心市街地活性化について、地域経済が疲弊してきていることを踏まえ、公民連携による中心市街地の持続的発展に繋げていく取組を推進します。

安全でひとと環境にやさしいまちづくり

【消防・防災】

- 新しく公表された想定最大規模の高潮および洪水の浸水想定に対し、地域防災計画および避難計画を改訂するとともに、紙版ハザードマップを全戸配布するなど、市民と連携した避難体制の確保に努めます。
- 消防団について、団員の処遇改善を図り、団員確保に努めるとともに、消防団日根野分団の車庫の建替を進めます。
- 災害時に重要な任務を担う自衛隊と連携し、防災啓発コンサートを開催します。

【環境衛生・環境保全】

- 単独処理浄化槽および汲取り便槽から合併処理浄化槽への転換を対象に設置費用の一部助成を今年度から再開し、生活排水の適正処理をさらに推進します。
- 環境保全対策について、4月1日施行の「泉佐野市建築物等における不良な生活環境の解消に関する条例」および「泉佐野市空き地の雑草等の除去に関する条例」に基づき、不良な状態の解消への必要な措置を行うことによって、良好な生活環境の確保に努めます。
- 昨年9月に「泉佐野市気候非常事態宣言」を行ったことを踏まえ、再生可能エネルギーを計画的・段階的に導入するための計画策定を行います。

- 今年度より木質バイオマスガス化発電施設の計画立案に着手することにより、地域に適した再生可能エネルギーの有効活用によって、2050年カーボンニュートラル・脱炭素社会の実現をめざします。

【廃棄物処理】

- 今年度から試行的に公民連携による食品残渣を活用したバイオガス発電および温熱を利用した農作物の栽培で食品リサイクルを行い、資源循環の推進に努めます。
- 「泉佐野市プラスチックごみゼロ宣言」に基づき、引き続きエコバッグのイベントなどでの配布をはじめとした啓発活動を進めることにより、プラスチックごみの削減に努めます。

【生活安全】

- 生活様式の変化に伴い増加している分野を重点とし、予防策として、消費者に対する啓発・情報発信の強化に加え、見守り者に対しても出前講座などを実施し、消費者被害の防止に努めます。
- 高齢者への運転免許証の自主返納促進奨励事業として、地域ポイント「さのぼ」の付与を引き続き行います。

市民と協働し、すべてのひとが輝けるまちづくり

【地域共助・地域コミュニティ】

- 上之郷コミュニティセンターについて、今年度より指定管理者による管理運営に移行します。
- 犯罪の抑止や検挙率の向上に資するため、警察と連携しながら、市域の248ヵ所に設置した防犯カメラを活用します。

【人権・多文化共生】

- 新型コロナウイルス感染症の拡大により、インターネットを悪用した人権侵害といった新たな人権課題も生起しているなか、関係機関との連携強化を図りながら人権課題の解消をめざすため、総合生活相談の機能を充実します。

- 「泉佐野市における部落差別撤廃とあらゆる差別をなくすことをめざす条例」の改正や「泉佐野市人権教育計画」の改定を検討します。
- 安全な社会の発展について、犯罪行為により日常生活などに支障をきたしている犯罪被害者などを支援するための施策と制度の確立を、関係機関と連携し検討します。

すこやかで、ひとつながり支え合うまちづくり

【地域福祉】

- 市民や社会福祉協議会、民生委員・児童委員協議会などの関係機関と連携し、協働の仕組づくりを推進します。
- あらゆる世代・対象に対応する総合相談窓口である基幹型包括支援センターを中心に、中学校区毎に設置した地域型包括支援センターをはじめとする関係支援機関と連携し、機能的で重層的な相談支援体制の整備に努めます。
- 広域連携のメリットを生かした福祉サービスの向上に取り組みます。

【高齢者福祉】

- 在宅医療と介護の連携や認知症施策などを推進します。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、自宅で過ごす機会が増える高齢者の熱中症を予防するため、高齢者のみの世帯を対象にエアコンの購入・設置費用の一部を助成し、安心して暮らすための支援をします。
- 高齢者のデジタル活用の支援として、初めてスマートフォンを購入される高齢者を対象に端末購入費用の一部を助成します。

【障害者福祉】

- 障害のある人やその家族が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、相談支援体制を充実させるとともに、必要とされる障害福祉サービスを確保し、障害者施策の推進に努めます。

【健康・医療】

- 日本における各都市の地域特性に応じた健康都市の実現に寄与することを目的とする健康都市連合日本支部の総会・大会について、8月に本市で開催し、健康づくりの機運を高め、健康づくり事業のより一層の推進に努めます。
- 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について、追加接種実施体制の構築を図り、引き続き感染予防・拡大防止に努めます。
- PCR検査センターについて、引き続き市民が無料で受検できる検査会場を設置し、まん延防止と社会経済活動の維持を図ります。
- 抗体量検査センターについて、検査ニーズを踏まえ、市民が無料受検できる事業を実施し、予防啓発やワクチン接種の促進に努めます。

総合計画の実現に向けて

【挑戦的な自治体経営】

- 地域を訪れない形態を含んだ関係人口の創出・拡大に取り組むとともに、地域魅力の創出や求められる価値の提供に努めます。
- 地方独立行政法人を活用した業務について、柔軟な運用を可能とする有効な業務手法であることから、行政のデジタル化推進とのマッチングを見据え、導入を進めます。
- 広域行政について、今年度より埋蔵文化財行政の広域連携による集約化を本市、泉南市、阪南市、田尻町の3市1町の枠組みで開始します。

【財政基盤の確立】

- 持続可能な財政基盤を確立するため、地方債残高の減少に努めるとともに、新たな財源の創出に努めます。

- 空港連絡橋利用税について、速やかな延長に向けて円滑に取り組みます。
- 感染症や経済危機などにも強い自律的な行財政運営に向け、機動的な対応が可能となるよう努めます。

【進行管理】

- 「広報いずみさの」の全ページをカラー化することにより、見やすい誌面づくりに努めます。
- 今年度市民アンケート調査を実施し、第5次総合計画の各施策において定めた重要業績評価指標（KPI）に基づいた行政評価システムの活用により、本計画の将来像の実現に向け、持続可能で自律的な市政運営に努めます。

令和4年度 当初予算 総額1,036億9,421万円

令和4年度の当初予算は、新型コロナウイルス感染症の影響により市税の増収が見込まれない中、新型コロナウイルス感染症への対策を継続的に実施しながら、「第5次泉佐野市総合計画」を計画的に推進していくために、ポストアトコロナに向けた地域経済への活力を、教育環境や住民の生活基盤の整備に重点を置いたものとなりました。

予算の特徴としては、新型コロナウイルスワクチン3回目接種の促進を初めとした新型コロナウイルス感染症対策事業などの臨時的な要素がある中、ふるさと応援寄附金の増などにより、当初予算では過去最大規模となりました。各分野で基金活用による事業推進を図るものとし、投資的経費は継続事業である泉佐野土丸線整備や鶴岡団地住宅建替事業に加え、南部市民交流センター整備や学校プール整備事業などの緊急性の高い事業を予算計上しました。

その他の主な政策的経費として、「活力・賑わい」では恋人の聖地観光誘客共同連携などの観光振興事業に加え、ポストアトコロナを見据えた地域の消費喚起を図る「さのぼ」運営事業、「教育」では新型コロナウイルス感染症対策事業として令和2年度より実施している小・中学校給食の無償化の継続実施に加え、長南小学校および長南中学校にプールを設置、「健康」では新型コロナウイルス3回目接種促進事業として接種者に「さのぼ」を付与、「環境」では木片チップを利用したバイオマス発電施設の整備、「快適・生活基盤」では笠松末広線の歩車道整備に加え、南部市民交流センター福祉分館整備などを行います。

また、財政健全化では、中期財政運営方針に基づき、引き続き行財政改革に取り組み、地方債残高の減少、ふるさと納税の推進などにより、財政基盤の安定化を図ります。

一般会計予算の特徴

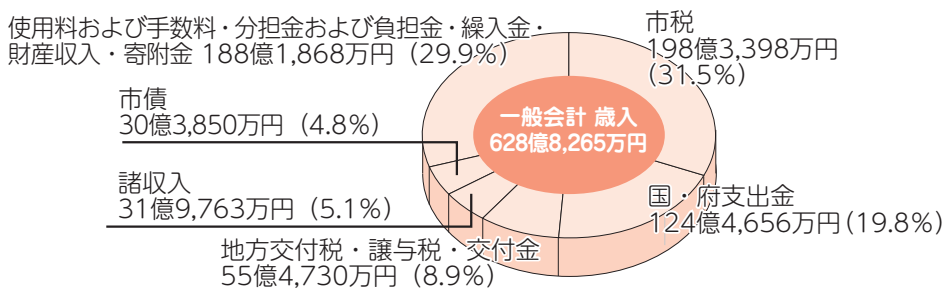
実質的には、対前年度比97億8千1百万円(18.5%)の増ポストアトコロナに向けた過去最大予算

問合先 行財政管理課

各会計予算

会計名	令和4年度(万円)	令和3年度(万円)	比較増減(万円)	比率(%)
一般会計	628億8,265	532億1,852	96億6,413	118.2
線償還及び借換債除く(*1・2)	627億5,085	529億6,942	97億8,143	118.5
国民健康保険事業特別会計	111億8,979	110億3,898	1億5,081	101.4
公共用地先行取得事業特別会計	27億2,486	13億3,430	13億9,056	204.2
線償還除く(*1)	13億9,322	13億3,430	5,892	104.4
介護保険事業特別会計	97億 719	96億9,952	767	100.1
後期高齢者医療事業特別会計	15億1,785	13億4,498	1億7,287	112.9
病院事業債管理特別会計	21億9,781	22億7,583	△7,802	96.6
りんくう公園事業特別会計	4億9,551	2億 134	2億9,417	246.1
水道事業会計	45億3,677	46億3,207	△9,530	97.9
下水道事業会計	84億4,178	86億 187	△1億6,009	98.1
借換債除く(*2)	84億4,178	82億4,541	1億9,637	102.4
合計	1,036億9,421	923億4,741	113億4,680	112.3

(*1) 線償還…利子負担軽減のために償還を繰り上げて行うもの
 (*2) 借換債…満期時に一部を借り換えするもの
 ※これらを除いたものが実質的な予算規模になります。



一般会計歳入・歳出の内訳

